



平成 29 年 5 月 19 日

各 位

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社
代表者 取締役社長 中尾 清
(コード番号 6330)
問合せ先責任者 経理部長 三代川 康雄
(TEL 047-454-1521)

業績予想と実績の差異ならびに営業外収益および費用の計上に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 10 日に公表いたしました業績予想数値と本日公表の実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。併せて、営業外収益および費用の計上についてもお知らせいたします。

記

●業績予想と実績の差異

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 29 年 2 月 10 日発表)	百万円 450,000	百万円 0	百万円 1,000	百万円 0	円 銭 0.00
実績値 (B)	431,917	△ 2,009	1,603	1,472	7.68
増減額 (B)-(A)	△ 18,082	△ 2,009	603	1,472	7.68
増減率(%)	△ 4.0	—	60.3	—	—
(ご参考)前年実績 (平成 28 年 3 月期)	299,813	11,087	3,873	3,038	15.85

差異の理由

完成工事高は、一部のプロジェクトにおいて想定していた進捗率を下回り、前回公表値から 180 億円減収の 4,319 億円となりました。

営業利益は、上記の減収による粗利益の減益効果や大型の最終完成案件の追加費用の計上等により、前回公表値に対して 20 億円減益の△20 億円となりました。

一方、為替差益の増加や貸倒引当金戻入額の増加等により、営業外損益で 26 億円増益となった結果、経常利益は、前回公表値に対して 6 億円増加の 16 億円となりました。

更に、保有株式の売却益や退職給付信託設定益等を特別利益として 42 億円計上し、税金費用控除後の親会社株主に帰属する当期純利益は 14 億円となりました。

●営業外収益および費用の計上

当社は、平成 29 年 3 月期の連結決算および個別決算において、営業外収益および費用を以下のとおり計上いたしました。

1. 連結決算（持分法による投資利益）

ブラジルの持分法適用関連会社ティーエス・パーティシパソエス・イ・インベステイメントス・エス・エー社の子会社が保有する固定資産の減損処理等に伴う損失を他の持分法適用関連会社の投資利益で相殺した結果、当第 4 四半期連結累計期間における持分法による投資利益は第 3 四半期連結累計期間の 988 百万円から 973 百万円減少し、15 百万円となりました。

2. 個別決算（持分法適用関連会社に関する営業外収益および費用）

ブラジルの持分法適用関連会社ティーエス・パーティシパソエス・イ・インベステイメントス・エス・エー社の子会社が保有する固定資産の減損処理等に伴い、同社向け支援関連損失 1,878 百万円（うち、営業外費用として貸付金等に対する貸倒損失 7,046 百万円、その他の貸倒引当金繰入額 158 百万円、営業外収益として保証債務に対する損失引当金戻入額 5,327 百万円）を計上いたしました。なお、当該損失は連結財務諸表上消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上